

Honda&JAFMate 危険予測トレーニング (KYT) を用いた運転リハビリテーション

桔梗ヶ原病院

深澤 聡志

【はじめに】

当院では、Honda セーフティナビ(以下 DS)を用いて目視による安全確認、危険予測、徐行・一時停止に着目した運転リハビリテーション (以下運転リハ) を行っている。しかし、危険予測の獲得が課題となる患者が多く、指導に難渋していた。その為、2024年より Honda&JAF Mate 危険予測トレーニング (以下 KYT)を用いた運転リハの導入を行った。

【KYT の特徴】

KYT は、①安全運転の意識付けに特化している、②DS 以外のアプローチで危険予測をトレーニングできる、③1つの運転場面から多角的に危険を予測できることが特徴である。開始時期は、安全運転の意識付けと DS の繰り返しによる誤学習の予防という観点から、運転支援初期から導入することが有用と考えた。

【まとめ】

KYT は、運転支援初期から導入することで、安全運転習慣の獲得、DS の繰り返しによる誤学習の予防に繋がる可能性が示唆された。